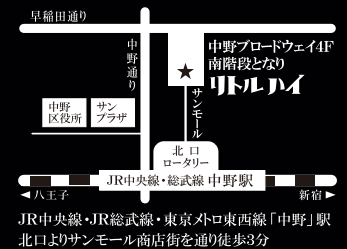
AR+美術

TAKE FREE

［エーアールプラスビジュツ］
September 2014 No.02

ペインター：松川朋奈（マツカワ トモナ）
アーティスト：飯沼珠実（イイヌマ タマミ）
現代美術作家：飯田竜太（イイダ リュウタ）
美術作家：菅 亮平（カン リョウヘイ）
陶芸作家：今泉 毅（イマイズミ タケシ）

アプリと連動した未来型の雑誌
作品を動画で楽しもう！
COCOAR＋美術

COCOAR対応
専用無料アプリケーションソフトCOCOAR（ココアル）をダウンロードしたスマートフォンやタブレット端末で本文の写真をスキャンしてください。アーティストのインタビュー映像や解説など他では見られない動画をご覧頂けます！

AR＋美術［エーアール プラスビジュツ］
2014年9月26日発行 TAKE FREE
発行／ウィリング 株式会社 〒110-0016 東京都台東区 1-11-9 上西ビル1F
編集／株式会社 OVER DRIVE 〒343-0827 埼玉県越谷市川柳町4丁目213番地
編集部／Tel:048-972-6614 Mail:contact@overdrive.jp.net

AR+美術

CONTENTS

September2014 No.02

04 松川朋奈（マツカワ トモナ）
ペインター

06 飯沼珠実（イイヌマ タマミ）
アーティスト

08 飯田竜太（イイダ リュウタ）
現代美術作家

10 菅 亮平（カン リョウヘイ）
美術作家

12 今泉 毅（イマイズミ タケシ）
陶芸作家

「エーアールプラスビジュツ」は COCOAR アプリを使用して注目したい作家をご紹介する美術系のフリーマガジンです。「一人でも多くの方に作家と出会ってもらいたい」という想いを込めてお伝えしていきます。

cover：
Tamami Iinuma
「Gartenstadt Falkenberg, Berlin-Gruenau」2010
シリーズ「Salute, Mr.Bruno Taut」より

簡単4STEPS!

COCOAR（ココアル）アプリの使い方

1.「COCOAR」専用のマーカーが登録されている対象物を用意。別のARアプリ専用のマーカーは使用できません。

2.「COCOAR」アプリを起動して、画面中央の「SCAN」をタップ。端末のカメラが起動したら準備完了。

3. カメラをマーカーに向けスキャンを開始します。中央の円の中にマーカー全体が入るようなイメージで行ないます。

4. 自動スキャンに成功するとコンテンツ動画がスタート。画面下部のボタンをタップすると関連のサイトに接続可能。

ARとは? Augmented Reality（拡張現実）の略称。カメラで映した現実の風景に様々なデジタル情報を重ね合わせて表示できる技術です。

COCOAR（ココアル）アプリ 無料ダウンロード

COCOAR
パンダのマークが目印です！

iPhone や iPad などの iOS 搭載機種は App Store にて Android 端末は Google play にて COCOAR を検索し COCOAR アプリ（無料）をダウンロードして下さい。

対応OS：iOS 6.0 以上、Android 4.0 以上（Androidは一部対応していない機種がございます。）

自分の気持ちを出せるわけないじゃない。だって私にとっては、家は職場みたいなものだから。
2014 パネルに油彩 89×130cm

アーティスト映像を配信中!!

実際の制作風景や作品に対する思いなどを動画で配信しています。ぜひご覧ください。

私は、簡単に変えたり選択することのできる外見(姿)よりも、変えることのできない部分に人の本質が見えると考えています。思わずやってしまう癖や、知らず知らずのうちにそうしている生活習慣によって刻まれた痕跡の残るものをモチーフとし、またその持ち主にインタビューを重ねることにより作品をつくりあげていきます。私が取りあげるモチーフは、傷がついていたり元の形をなくした、いわゆる中古品です。それらは一般的には(新品として美しい)価値を失ったもの、汚いものです。しかしながら私はそこに人間性などの新たな価値を見出しているのです。その表明として(今までぼやけていたものをはっきり見せるだけでなく、新しいものを発見させる手法である)クローズアップや、汚いとされるものを美しく転換してフラットに描く手法を取っています。制作を通じて普段人に見せることのない、人、世代、時代の無意識の姿をあぶりだすことが、私のテーマです。

男に求められる人妻としての優越感、それに背徳感、犯そうとしてる罪の大きさに対する少しの恐怖、どれも悪くないなぁって
2013 パネルに油彩 162×242cm

だからそれはしかたないと思う。でもその分私が言えずに持っている気持ちをどうすればいいんだろう。
2014 パネルに油彩 51×73cm

Tomona Matsukawa 松川 朋奈

ペインター / 1987年 愛知県生まれ

2011 多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業
2010 No Man's Land(フランス大使館別館 / 東京)
　　第3回アーティクル賞展、準グランプリ受賞(佐藤美術館 / 東京)
2011 シェル美術賞(代官山ヒルサイドフォーラム / 東京)
　　福沢一郎記念賞受賞
　　第25回ホルベインスカラシップ奨学生認定
2013 シェルアーティストセレクション、島敦彦審査員推薦枠(国立新美術館 / 東京)
2014 11月に YUKA TSURUNO gallery(東京)にて個展開催予定

www.tomonamatsukawa.com

「Haus Kandinsky Speisezimmer」（シリーズ "Landscape in Modern Architecture" より）
2013 ピグメントプリント

「Montparnasse, Paris 75014」（シリーズ "Landscape in Modern Architecture" より）
2013 ピグメントプリント

建築写真にまつわる三つの身体性―建築的身体、カメラの機械的身体、撮影者の身体―の関係について考えている。たとえばドイツ・ベッヒャー派の建築写真では、建築とカメラの身体を結合させ、敢えて撮影者の身体をその関係の外側に配置することで、撮影者「Ich（わたし）」は抽象化され、その主体は「Man（誰か）」という不特定性を帯びる。そこになにか物足りなさを憶えるのは、撮影者と建築の"経験"が浮いてしまうからではないだろうか。わたしの「Ich」は、建築写真にまつわる三つ目の身体として、その内側に関係したい。不特定の誰か「Man」の眼差しを、特定の誰か「Der Mann」、建築的身体の代謝に深く関係している人―たとえばこの家の住人「Der Einwohner」に委ねてみよう。

「Ich」から「Man」、そして「Dear Einwohner」へのトランスレーション。このコンセプトのもとで集積したイメージをまとめ、アーティストブックという"小さな建築"、イメージの宿屋をつくっている。造形、印刷、造本など、すべての工程を自分で制作している。

Tamami Iinuma 飯沼 珠実

アーティスト ／ 1983 年 東京都生まれ

2008 多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程デザイン領域 修了
2010 Hochschule fuer Grafik und Buchkunst Leipzig 研究生
公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員
2009 「第12回文化庁メディア芸術祭」（国立新美術館 / 東京）
2012 「F/STOP - 5. Festival fuer Fotographie Leipzig」（Baumwolle Spinnerei / ドイツ）
「欧州文化首都ギマラエンス noc noc」（アルベルト・サンパイオ美術館別館 / ポルトガル）
2014 「Coincidental Perception」（KUNST ARZT / 京都）
「東川町国際写真フェスティバル」（東川赤レンガ倉庫 / 北海道）

http://tamamiii.com

「Waldsiedlung Onkel Toms Huette, Berlin - Zehlendorf」（シリーズ "Salute,Mr.Bruno Taut" より）
2011 ピグメントプリント

アーティスト映像を配信中!!

飯沼さんの作品の美しいフレーミングの世界や、展覧会の様子をぜひご覧ください。

本棚に入っているたくさんの本。本を構成している素材は紙であり、元を正せば植物であることは明白な事実である。紙に文字が印字され、束にされたことで紙から本に名称が変わり扱われる。また本の厚みによって生まれる背表紙には、中身の文字情報が代弁されるように文字が配される。本棚には、その本を所有する人間の趣向やその生活、もしくは雰囲気が纏わっている。本屋や図書館とは違い、選出され並べられた個人の本棚には人間性が色濃く出る。その色は、選ばれた本の内容にあわせて背表紙から伝わる情報だけでもくみ取ることができる。木材を扱い、切り出し彫刻をつくるように、本棚の中に木材を見、本を返して背表紙を見えない状態にして本棚をつくり直す行為を行った。本棚にあった文字が消えることで、よりその本棚を所有している人間の存在感や雰囲気が伝わる彫刻としての本棚が立ち現れる。

Ryuta Iida 飯田 竜太

現代美術作家 ／ 1981 年 静岡県生まれ
2004 日本大学芸術学部美術学科彫刻コース 卒業
2014 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程
先端芸術表現専攻 修了
2006 グラフィックデザイナー田中義久と
「Nerhol」(ネルホル)を結成
2009 「第 12 回岡本太郎現代芸術賞」入選
2013 「ART FAIR TOKYO 2013」
Bacon Prize 受賞(「Nerhol」として)
個展・グループ展多数

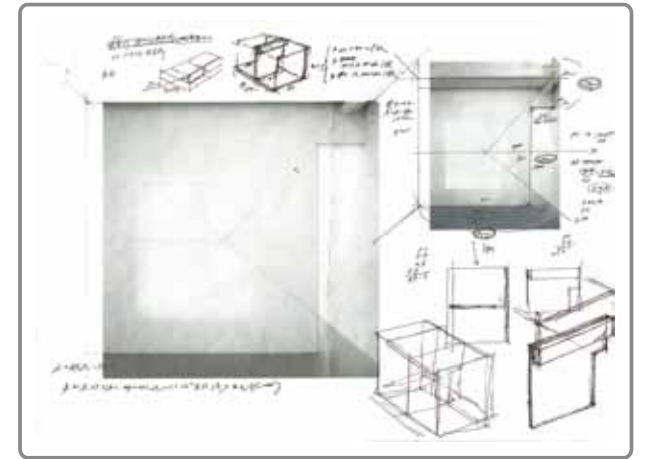
http://www.ryuta-iida.com
http://www.nerhol.com

左上の写真をスキャンすると、
飯田さん制作の映像作品がご覧になれます。
写真2点+動画でひとつの作品です。

アーティスト映像を配信中!!

未読者の対流 -Non Readers benard cells- 2013 本、雑誌、椅子、木材、電球 可変インスタレーション

forest in bookshelf 2014 本棚、本 インスタレーション、パフォーマンス MA2 ギャラリー「paradice gurden」展示風景
（写真 2 点 + 動画作品）

White Cube - 06　2013
Inkjet print 160×242㎝

Plan for White Cube - 02　2012-13
Inkjet print, pen on Paper　21×29.7㎝

White Cube　2013 トーキョーワンダーサイト本郷　展示風景
Photo by Ken Kato

アーティスト映像を配信中!!

菅さんの最新作「Room A.EG_05」の様子が動画で見れます。ぜひご覧ください。

私は２００９年以降、ミニチュアの模型を題材とする「Fictional Scenery」シリーズを通して、イメージの本来的な性質である虚構性を制作のテーマとしてきた。模型の作製、撮影、印刷など複数のメディアを包括的に用いる手法によって現実と虚構との対照関係を示し、私たちの存在に対する問いに思考を巡らせてきた。「White Cube」シリーズ（２０１２年〜）では、ホワイトキューブが日常の空間から切り離された観念的な場として虚構的な性格を持つことに着目し、世界中から収集した美術館とギャラリーの写真や設計図をもとに模型を作製している。また、ホワイトキューブのイメージをホワイトキューブの中で反復させるイリュージョンの創出から、新たに建築という領域に踏み込んで制作を発展させた。現在進行中のプロジェクト「Room A.EG_05」では、イメージを展示する部屋自体（A.EG_05）の模型を作製し、イメージと展示空間（建築）が不可分な関係性をもった状態を提示することを試みている。

Ryohei Kan 菅 亮平

©Shingo Kanagawa

美術作家 ／ 1983 年 愛媛県生まれ

2011　東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画専攻 修了
2013 - ミュンヘン国立造形美術アカデミー
（Prof. Gregor Schneider）
現在ミュンヘン在住
2010　個展「Black Box」（YOKOI FINE ART/ 東京）
2011　「アートアワードトーキョー丸の内 2011」
（行幸地下ギャラリー / 東京）
2012　「シェル美術賞展」（国立新美術館 / 東京）
2013　個展「White Cube」（トーキョーワンダーサイト本郷 / 東京）

http://ryoheican.com

Takeshi Imaizumi 今泉 毅

陶芸作家 ／ 1978 年 埼玉県生まれ

2002 早稲田大学政経学部政治学科卒業
2009「日本陶芸展 大賞・桂宮賜杯」（毎日新聞社主催）
「韓国世界陶磁ビエンナーレ」銅賞
2010「現代工芸への視線ー茶事をめぐってー」
（東京国立近代美術館工芸館 / 東京）
「カラーやきものと色の密やかな関係」
（岐阜県現代陶芸美術館 / 岐阜）
2012「SHAPED by TRADITHON」
（KEIKO Gallery / ボストン、アメリカ）

南宋アルカディア、ここ2〜3年そんなテーマで個展をしています。青磁、天目、施釉陶器のピークの時代に牧歌的憧憬を込めて。土と釉と火、その融合美に夢を見ています。ヤキモノとは？陶とは何か？——その問いに対峙するとき、素材と火に過分に助けられつくることを許されていると気付きます。またその中で僅かに救われる自己を見ます。陶芸は様々な鉱物を使います。土、石、金属、それらを焼成・融合させることで生まれる変容と素材美の無限の可能性。隕石と熱の核から星が生まれたように。それから見れば小さな窯の小さな作業ですが、そんな感覚を持つときもあります。また器であることも自分の作品の大きな要素です。うつわ、空ろなるもの。茶碗であれ花入であれ、器は用途以前に何らかを内包する空間を持ちます。その空間は空気に繋がり、作品の外の空間にも続くものです。一碗に一花入に、空間に繋がる作品でありたいと願います。陶ノ器を探して。

今年５月に行われた個展の様子を動画で配信しています。奥深い陶芸の世界を動画でもお楽しみください。

アーティスト映像を配信中!!

写真左 油滴茶碗 2013 陶 φ13.6×H6.8cm 写真右 灰被黒茶碗 2013 陶 φ13.6×H7cm

白月釉花鉢 2013 陶 φ38×H13.7cm

青磁筒花器 2013 陶 φ13.2×H19.5cm

September 2014 No.02

STAFF

EDITOR IN CHIEF
ATSUSHI SAGA

PRODUCER
HIDEAKI ENOMOTO

DESIGN
ATSUSHI SAGA
HIDEAKI ENOMOTO

VIDEO EDITOR
HARUKA ABE
SHIHOKO HORIKAWA
YUTOKU YOSHIDA

SPECIAL THANKS
MISAYO MATAYOSHI

発行日
2014 年 9 月 26 日

発行元
ウィリング株式会社
〒110-0016
東京都台東区台東 1-11-9 上西ビル 1F
TEL 03-5807-2366（代表・広告）

編集部
株式会社 OVER DRIVE
〒343-0827
埼玉県越谷市川柳町 4 丁目 213 番地
TEL 048-972-6614（編集）

DTP・印刷
ウィリング株式会社

お申込みの流れ

お申込み時に「AR＋美術を見た」でご利用期間を１週間延長サービス致します。カタログやチラシ、会社案内などさまざまな分野でご活用ください。

1. まずはお電話、メールなどにてご連絡ください。お客様のご要望に合わせたプラン、方法をご提案させていただきます。

2. 内容、方向性が決まりましたら使用したいマーカーのテストをさせていただきます。（マーカーとして不向きな場合もございますので必須となっております。）

3. 無事にマーカーのテストが完了となりましたら、正式なお申込みとなります。配信する動画コンテンツをご用意ください。（動画の作成も承っております。）

4. 動画コンテンツのご提供、ご利用料金のお支払等の準備が整いましたらご登録となります。

5. 登録後は、1か月に1度アクセスログの発行をしております。登録された AR マーカーが何時、何回再生されたかなどのデータをご確認いただけます。

お問い合わせは下記へお気軽にどうぞ

ウィリング株式会社
〒110-0016 東京都台東区台東 1-11-9 上西ビル 1F
TEL 03-5807-2366（月～金 10:00-18:00）
E-mail: info@ar-service.jp
http://ar-service.jp

印刷×動画＝新広告！

AR広告サービス4つのメリット

感性的伝達　写真がマーカーになるから読者が直感的に認識できて伝わりやすい！

効率的伝達　紙面 10 枚分以上の情報がたった１枚の写真の中に簡単に集約可能！

多様性　シンプルな機能だから多様な場面でご利用可能！使い方次第で効果UP!!

最短１ヶ月のプランでも業界トップクラスの低価格にてご提供！

［活用例］
- ◆雑誌の表紙から試し読み
- ◆チラシやカタログから動画案内
- ◆企業ロゴからサービスイメージ案内
- ◆参考書や図鑑から動画解説
- ◆取扱説明書から組立案内
- ◆映画や舞台のポスターから予告編 .etc

おすすめAR広告サービスプラン

- 月額使用料／一括払い
  3,700 円（税別）
- 初期設定料／無料
- 契約期間／1ヶ月間
- マーカー数／1個まで※2
- 容量／30MBまで※2

◆その他のサービスプラン

AR Standard プラン
初期設定料／有料※1
契約期間／1年間
マーカー数／6個※2
容量／100MB※2
月額使用料／12,000円（税別）

AR Economy プラン
初期設定料／有料※1
契約期間／6ヶ月間
マーカー数／6個※2
容量／100MB※2
月額使用料／16,000円（税別）

AR Short プラン
初期設定料／有料※1
契約期間／3ヶ月間
マーカー数／6個※2
容量／100MB※2
月額使用料／18,000円（税別）

AR 単発プラン
初期設定料／無料
契約期間／1ヶ月間
マーカー数／6個※2
容量／100MB※2
月額使用料／30,000円（税別）

<補足>
＊コンテンツはご依頼者様にてご用意ください。
＊お持ちの動画をAR用に変換する作業は弊社にて行ないます。
（mp4形式の動画をお持ちの方はそのままご提供ください。）
＊登録したコンテンツは月に4回まで差し替え可能です。
＊配信される動画などの内容によっては当サービスをご利用いただけない場合がございます。
＊画像によってはマーカーとして登録できない場合があります。
＊その他ご不明な点などは弊社までお問い合わせください。

※1 初期設定料は 30,000円（税抜）です。
※2 追加マーカー、追加容量のご希望は別途承ります。